

令和7年度しずおか高校生探究フェスタ【展示部門】
発表情報

展示スペース①②

学 校 名：静岡県立駿河総合高等学校

内 容：①住宅模型の展示

②水中ロボットの提案、ものづくり課題研究作品

タイトル：駿河総合高校ものづくり

形 態：展示

概 要

駿河総合高校のものづくり選択者の作品を展示する。授業で作った街並みや課題研究での研究内容を展示する。

展示スペース③

学 校 名：静岡県立吉原工業高等学校

内 容：3Dプリンタを使用した製作品の展示（防災マップ、冷蔵庫）

タイトル：3Dプリンタを使用した製作品の展示（防災マップ、冷蔵庫）

形 態：展示

概 要

今回の展示では、3Dプリンタで造形した2つの作品を展示する。①作成者の出身小学校の周辺地域の3D防災マップを、国土地理院地図のデータをもとに製作した。②ペルチェ素子を使った冷蔵庫のボディを3DCADで設計し、3Dプリンタで造形をし、組立・製作した。なお、3Dプリンタのフィラメント（材料）は環境啓発のためにペットボトルキャップを砕いて再利用したのものを使っている。

展示スペース④⑤

学 校 名：静岡県立浜松商業高等学校

内 容：商品開発した商品の販売

タイトル：浜商オリジナル商品総決算

形 態：販売

概 要

過去3年間に販売された商品（オリジナルパン・浜松焼きそば）を販売する。これまでの浜商調査研究部の歩みをご覧願う。

展示スペース⑥

学 校 名：静岡県立榛原高等学校

内 容：米粉せんべいの販売

タイトル：そのお米、捨てないで煎餅にしました。

形 態：販売

概 要

廃棄される予定だったお米にもう一度価値を与えたいと思い、この煎餅を作り始めた。形や見た目が理由で捨てられてしまうお米でも工夫次第でおいしく変えることができる。この展示を通して、食品ロスについて身近に考えるきっかけになれば嬉しい。

展示スペース⑦⑧⑨

学 校 名：静岡県立清流館高等学校

内 容：⑦焼津の魅力発信プロジェクトポスター展示A

⑧焼津の魅力発信プロジェクトポスター展示B

⑨焼津の魅力発信プロジェクトポスター展示C

タイトル：「焼津魅力発信プロジェクト」における各企業の広報物

形 態：展示

概 要

焼津市・藤枝市の企業を訪問し、調査・インタビューを行った。その会社・商店の「魅力」を発見し、どうすれば多くの方に伝えることができるかを考え、広報物を作成した。広報物は、ポスターを始め、動画、メニュー表など多岐にわたり、企業の方に、実際に使用して頂いているものもある。

展示スペース⑩

学 校 名：静岡県立三島長陵高等学校

内 容：防災についての探究のポスター展示

タイトル：中間年次「しゃかたん」クラステーマ代表作品

形 態：展示

概 要

- ・災害時高校生にできること
- ・避難生活に安心を

展示スペース⑪

学 校 名：高校教育課

内 容：探究コンソーシアムの取組紹介

タイトル：静岡県の探究学習推進コーナー

形 態：展示

概 要

「行きたい学校づくり」推進事業の一環として、探究学習推進に係る探究コンソーシアムの取組を紹介する。

展示スペース⑫

学 校 名：静岡県立沼津城北高等学校

内 容：企業訪問体験録

タイトル：図書館を通じた地域連携

形 態：展示

概 要

本校の探究活動「Jチャレンジ」での企業訪問の実施後、三島市の和食店「風土」2階にある「あひる図書館」の活動理念に共鳴した有志生徒6人が、一部の活動に関わらせていただけることとなった。地域の大人との活動について、経緯とこれからの展望についての展示を行う。

展示スペース⑬

学 校 名：静岡県立静岡農業高等学校

内 容：食品系課題研究 地域食材に関する展示

タイトル：地域食材の活用に関する展示・試食

形 態：展示

概 要

農業高校食品系の研究活動を紹介する。地域食材である「金山寺みそ」や「在来作物」を活用したベーグルやパンの試食も数量限定で体験できる。

展示スペース⑭

学 校 名：静岡県立静岡農業高等学校

内 容：食品系課題研究 後発酵茶に関する展示

タイトル：後発酵茶に関する展示・試飲

形 態：展示

概 要

新たな茶葉利用の可能性を研究、後発酵茶の紹介展示と試飲を（体験）を行う。

展示スペース⑮

学 校 名：常葉大学附属常葉高等学校

内 容：社会・経済について

タイトル：ご当地キャラクターのお土産の需要を高めるために必要なことは+

形 態：展示

概 要

私たちは、ご当地キャラクターのお土産品にはどのようなことが求められているのか、また、需要を高めるためにはどのような対策をするべきか、生徒アンケートや心理学の面から調査しポスターにまとめた。また、別の班が迷惑防止条例違反の静岡県の実情をまとめた。

展示スペース⑯

学 校 名：常葉大学附属常葉高等学校

内 容：学校周辺商店街の魅力

タイトル：地元、北街道の魅力を伝えよう

形 態：展示

概 要

常葉高校の地元である、北街道を盛り上げるために何ができるか探究し、北街道にある、おすすめスポットについて、調べ、インタビューした内容をまとめながら、お店の魅力を伝える。

展示スペース⑰

学 校 名：静岡県立御殿場高等学校

内 容：コンテンツ作成について キャラクター制作について

タイトル：手書きをデジタルにしてみたら リール動画を作成しよう

形 態：展示

概 要

「国立中央青少年交流の家」のオリジナルキャラクターを考えた。手書のイラストをCanvaでデジタル化したら？絵が苦手な生徒もパーツなどを組み合わせるとイラストの「基」が作成することができる。初めの1歩として取組んだ。

オープンスクールの案内動画をインスタの「リール」で作成した。たった「15秒」の中で、必要な情報と学校の様子を効率よく伝えるためのポイントを考え、8通りのオリジナル動画を完成させた。

展示スペース⑱⑲

学 校 名：静岡県立清水東高等学校

内 容：⑱ロウソクの科学について

⑲グリム版でもペロー版でもない赤ずきんはどこから来たか

タイトル：清水東高校2年の探究活動

形 態：展示

概 要

清水東高校普通科2年生の探究活動の現状における研究成果である。

展示スペース⑳

学 校 名：静岡県立清水東高等学校

内 容：清水東高校課題研究紹介シート

タイトル：清水東高校2年の探究活動

形 態：展示

概 要

清水東高校2年生全学科における探究活動のダイジェスト版である。

展示スペース①

学 校 名：静岡県立富士特別支援学校富士東分校

内 容：紙バンド籠とコーヒー殻脱臭剤の販売

タイトル：FUJI ECO CRAFT STAND 紙のまち富士市発 紙とコーヒーが生まれ変わる場所

形 態：販売

概 要

私たちは、地域資源の活用と SDGs の視点を取り入れた作業学習を行っている。一つは、富士市の特産品である「紙」を活用した「紙バンド籠」である。もう一つは、地域との連携・協働から生まれた「コーヒー殻脱臭剤」である。これは、コンビニ等からいただいた抽出後のコーヒー殻を、生徒がひとつひとつ製品にしたものである。富士市中里の「カフェ 1518 (いちごいちえ)」さんとも協働し、廃棄物を価値あるものへ変えるアップサイクルの取組をしている。

展示スペース②

学 校 名：静岡県立富士特別支援学校

内 容：作業学習及び作業製品の紹介・展示

タイトル：This is 富士特作業学習

形 態：展示

概 要

作業学習は、製品づくりや活動を通して働く力を身につける授業である。富士特別支援学校には 10 個の作業班がある。その 10 ある各作業班の活動内容の説明パネルと、生徒たちが授業で作った作業製品を展示する。作業製品は、様々な販売会で販売する。「お客様に喜んでもらえる製品を」と思い込めて作った製品を見て、その成果を感じていただければと思う。合わせて、学校の紹介パネルも展示するので、ぜひ富士特別支援学校及び作業学習について知る機会としてほしい。

展示スペース⑳㉑

学 校 名：静岡県立清水特別支援学校

内 容：㉑作業製品の販売作業学習の紹介
㉒地域交流活動の紹介

タイトル：届け！清水特支の輝きを！

形 態：㉑販売
㉒展示

概 要

『清水特別支援学校』は自然豊かな秋葉山公園に隣接する清水区唯一の特別支援学校である。本校は、地域の方が「あって良かった」と思ってもらえる学校を目指し、地域の方との交流や行事等への参加を積極的に行い、児童生徒の輝く姿を発信している。今回は、高等部で取り組んでいる作業学習で自主生産している製品を中心に紹介する。

展示スペース㉕

学 校 名：静岡県立静岡北特別支援学校南の丘分校

内 容：学校紹介パネルや作業製品の展示

タイトル：南の丘分校の紹介、作業製品の展示

形 態：展示

概 要

- ・学校紹介パネルの掲示
- ・作業製品の展示

展示スペース㉖

学 校 名：静岡県立静岡北特別支援学校

内 容：作業学習、麻活の紹介

タイトル：静岡北特別支援学校高等部 総合的な探究の時間（麻活）及び作業学習の様子

形 態：展示

概 要

- ・総合的な探究の時間：パネル1枚を展示する。
- ・作業学習の様子：パネル1枚と作業製品を展示する。

展示スペース②⑦

学 校 名：静岡県立沼津西高等学校

内 容：芸術科美術専攻・書道専攻の作品展

タイトル：美術 「桜えび塩クッキー」パッケージデザイン

書道 漢字の書「臨書」

形 態：展示

概 要

美術

地元企業、生産者と連携し、地域の魅力を県内外に発信する目的で地元食材を用いたお菓子のパッケージデザインについて、書道専攻3年生が題字を担当し、美術専攻1年生がデザインを行った。美術専攻1年生は5チームに分かれプレゼンテーションを経て、1チームが採用された。そのすべての原画と模型を展示する。

書道

「臨書」とは昔の達筆な人の書をそっくりそのまま書く勉強法である。筆運びや字形を忠実に捉えることで、書の美しさを理解したり、自分の書く力を高めたりすることができる。